

「第3回TRIZシンポジウム」の一般発表の募集について
兼 最終原稿の提出要領

2007年2月20日 [2007.3.8 微修正] [2007.6.4]

日本TRIZ協議会

第3回TRIZシンポジウム

プログラム委員長 中川 徹 (大阪学院大学)

創造的な技術革新の技法「TRIZ」について、広く発表・討論・交流するために、日本TRIZ協議会が主催して、第3回のTRIZシンポジウムを開催いたします。つきましては、一般発表を下記のように公募いたしますので、どうぞ積極にご応募くださいますようお願いいたします。

また、発表者の方に最終原稿を提出していただく要領を記述しております(追記・改訂部分は赤字)。本案内に従って最終原稿を提出いただき、発表のご用意をいただきたくお願いいたします。[2007.6.4]

記

1. 第3回TRIZシンポジウム2007の概要

日時： 2007年 8月30日(木)～9月1日(土) (3日間)

会場： 東芝研修センター (横浜市港北区、JR 新横浜駅 徒歩17分)

主催： 日本TRIZ協議会 (代表：林 利弘 (日立製作所))

目的： 創造的な技術革新の技法「TRIZ」とその関連分野での発表・討論・交流の場を提供する。
TRIZに関して、その技術レベルの向上と普及・推進・適用のしかたの向上に資する。
日本と世界の TRIZ 関係者の交流を図り、TRIZ の理解と普及を促進する。

ねらい： 発表および参加を広く(国内・海外から)公募し、学会に準じる公開の会とする。
TRIZ のより深く広い理解を作るとともに、企業や大学などにおける実践を推進する。
基本的には国内向けであるが、部分的に(できるだけ多く)国際的なものにする。

重点テーマ： (1) TRIZ の技法の発展とその技術課題適用事例
(2) TRIZ の適用と推進のしかた、特に技術開発全体の中で捉えて
(3) 日本および世界における TRIZ 推進の状況

公式言語： 日本語 および 英語

オーラルの発表は、和文と英文のスライドを並行投影する。

発表には通訳(同時通訳/逐次通訳)なし。討論は通訳サポートあり。

Proceedings は、日本人向け原語優先・和訳版と、

海外参加者向けの英語版 とを印刷し、当日配布する。

一般発表の発表形態:

- オーラル発表:** 基本発表時間: 発表 30分 + 質疑応答 10分。
シングルトラック (1会場) または ダブルトラック(2会場)
- ポスター発表:** 会場内のコーナーに分散して、複数同時並行で掲示・発表。
比較的少人数での自由な質疑応答可能。
全日程掲出の予定。各セッションの時間は 80分程度。

2. 一般発表 (オーラル発表とポスター発表を含む) の募集テーマ

テーマ: 上記のシンポジウムの趣旨に沿った、オリジナルな研究・活動報告。
つぎのような範囲で考えて下さい。(この他にもあれば検討します。)
特に、実地の適用事例・活動事例に基づいた発表をお願いします。

技法など	適用目的	適用分野	適用場面
TRIZ TRIZからの派生・発展 創造性技法、 アイデア生成法、 問題抽出技法、 問題解決技法、 将来予測技法、 技術革新技法・運動、 技術管理、知識管理、 研究開発技法 特許生成・特許分析、 技術の実装技法、 問題解決支援システム、 日本独自の諸方法 など	技術予測・市場予測、 問題抽出、 商品企画開発、 技術課題の解決、 技術コンセプトの生成、 品質向上、 コスト・納期削減、 エコシステム、 特許発掘、特許強化、 ビジネスモデルの創成、 技法の検証、 創造性教育・訓練 など	一般技術分野 機械・機構系、 電気・電子系、 システム系、 ソフトウェア系、 材料系、 化学系、 生物系、 ビジネス系、 社会問題、 身近な問題、 など	大学等教育、 技術者教育、 普及・啓蒙、 適用試行、 グループ活動、 実地適用、 推進組織化、 推進活動、 R&D 全般、 管理者教育、 中小企業普及、 初等中等教育、 など

3. 一般発表の申込み手続きについて (オーラル発表とポスター発表にすべて共通)

3.1 申込みに際して提出すべきもの

電子メールにて、下記の書式 3 件を提出下さい。

0. 申込みメール: 「発表申込み」の趣旨を明記し、下記の 3 件の書式を添付下さい。

A. 発表申込み書: 書式 A による。MS Word 2000/2003。 **テンプレートを Web に掲載済み。**
発表題目、著者 (所属)、著者代表連絡先、
希望発表形態 (一般発表のみ、一般発表優先、ポスター発表優先、ポスター発表のみ)。

B. 和文概要: 書式 B による。MS Word 2000/2003。 **テンプレートを Web に掲載済み。**
発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、
200 字程度の概要、説明文 (図表も可)、全体で A4 の 1 頁。

(注: 題目・著者・概要は事前プログラムに掲載する。
説明文は(この時点では)プログラムの審査・編成に用いる。)

C. 英文概要: 書式 C による。MS Word 2000/2003。 **テンプレートを Web に掲載済み。**
英文の発表題目、著者(所属)(共著者を含む)、英文概要。全体で B5 1 頁。
(注: 英文での事前プログラムに掲載する。)

3.2 発表に関する著作権の扱いについて (再度ご確認ください [2007. 6. 4])

前提事項: 発表申込みおよび発表資料の提出時点において、発表者は
その内容が他者の著作権などを侵害していないことを確認し、
また社内の発表許可などを経ているものとします。

発表時期: 発表資料の公表時点はシンポジウム初日 8 月 30 日とします。

著作権: 発表資料の著作権は、著作者本人にあるものとします。
よって、著者は T R I Z シンポジウムの後に、自分が適当と考える方法で、
他に投稿・発表などができます。

著作権の譲渡: 発表者は、以下の事項に対して「日本 T R I Z 協議会」に非排他的な権利を
譲渡するものとします。

- ・ 「第 3 回 T R I Z シンポジウム」での当日配布資料に印刷し、配布すること。
- ・ また、その資料の複製を後日配布・販売すること。
- ・ 日本 T R I Z 協議会が適切と考える Web サイト(複数可)で後日公開
あるいは限定開示すること。
- ・ 発表のスナップ写真撮影を許可し、それらを
日本 T R I Z 協議会が適切と考える方法で、掲載、配布、案内資料などに使うこと。

3.3 発表申込みの提出

提出・問い合わせ先: プログラム委員長: 中川 徹(大阪学院大学)

送付方法: 電子メールで文書添付(MS Word)、

宛て先: 電子メールアドレス: jts-sympo@triz-jp.com

申込み締め切り: 2007 年 5 月 14 日(月) 18:00

4. プログラムの決定と著者への通知 (本項、6 月 4 日付けで決定・通知・公表しました [2007. 6.4])

採否決定: 発表の採否とプログラム案の決定は、
5 月下旬に日本 T R I Z 協議会プログラム委員会にて行います。

オーラル発表とポスター発表の別は、申込み時の希望を考慮しつつ、
プログラム委員会で調整・決定いたします。

申込み時の第一希望とは異なる場合もありますが、ご了承下さい。

発表申込みについて、不採用の判断をする場合もあります。

著者への通知: 発表の採否およびプログラム案を、6月4日頃に通知します。

採用された著者は指示に従って、原稿を次項のように準備下さい。

プログラムの発表: 編成したプログラム案を TRIZ 協議会の公式ホームページに掲載し、

参加者募集を行う。和文と英文を同時掲載する。

この段階で、発表の題名、著者(所属)、概要 を公表する。

(和文概要につけた説明文の部分は公表しない。)

5. 発表の形態と Proceedings 作成の計画について (最終原稿提出のための予備知識)

詳細の一覧表は別紙を参照下さい。

(本項、変更なし [2007. 6. 4])

5.1 オーラル発表の実施形態

(本項、変更なし [2007. 6. 4])

- ・ 発表は (日本人の場合には標準的に) 日本語。
- ・ 発表自体の通訳 (英語への通訳) は行わない。討論については、双方向に逐次通訳する。
- ・ 日本語スライドを主画面に投影し、同時に副画面に英文スライドを投影する。
日本語スライドは発表者が操作し、英文スライドは追隨して事務局が操作する。
- ・ 発表 30 分 + 討論 10 分とする。

5.2 ポスター発表の実施形態

(本項、変更なし [2007. 6. 4])

(a) ポスターの掲出作業

- ・ 各自に模造紙 2 枚 (縦型で横に並べる) のスペースが与えられる。
これを会場内の指定された壁面または移動式パネルに貼り出す。
- ・ 和文と英文の両方でポスターを掲示する場合には、最大 4 枚分のスペースとする。
- ・ この模造紙スペースに、各自がプリントしてきたスライドを貼り出す。
A4 にプリントしたスライドは 8 枚/模造紙 貼れる。十分大きな字にすること。
- ・ 掲出は基本的に初日午前中に各自が作業して行い、全日程掲出しておく。
模造紙、セロテープ、マジックインキなどは事務局が用意する。

(b) 「ポスターセッションの紹介」セッションでの発表

- ・ 各ポスターセッションに対して、その「紹介」セッションを持ち、全体会場で話す。
- ・ 紹介セッションでは、各自 2 分間で簡単な紹介を行う。(全体で 20 分の予定)
- ・ この紹介では、スライド 2 枚 (だけ) を使う。和文・英文スライドを同時投影する。

(c) ポスターセッションでの発表と討論

- ・ 発表者は各自指定された壁面/場所で、ポスターの説明を行う。複数件の同時並行。
- ・ 参加者は、それぞれに選択したポスターを順次訪問する。
- ・ 全体時間は 80 分(程度)。初回の説明と討論を 20 分で一斉に区切り、2 回目の説明を開始する。
それ以降は臨機応変で随時に発表と討論を行う。
- ・ 比較的少人数でのインタラクティブな発表と討論を行うことが趣旨である。

5.3 印刷配布物（概要版および詳細版の Proceedings）

（本項、変更なし [2007. 6. 4]）

下記の 4 種の印刷物を作成し、シンポジウム初日に参加者に配布する。

記載項目の詳細は、別紙の一覧表を参照のこと。

- (A) 日本人向け 概要版: 日本人発表の和文概要 + 海外参加者発表の 英文概要
- (B) 海外参加者向け 概要版: 日本人発表の英訳概要 + 海外参加者発表の 英文概要
- (C) 日本人向け 詳細版: 日本人発表の 和文スライドまたは和文論文（著者が一方を選択）
海外参加者発表の 英文スライドまたは英文論文（著者が一方を選択）と
和訳スライド
- (D) 海外参加者向け 詳細版: 日本人発表の 英訳スライドまたは英文論文（著者が一方を選択）
または 英訳のポスター紹介スライド
海外参加者発表の 英文スライドまたは英文論文（著者が一方を選択）

5.4 スライドなどの翻訳作業について

- ・ 論文の概要については、著者自身が英訳したものを提出してください。
注：著者の提出したものに対して、事務局から推敲の助言・支援をする場合があります。
- ・ オーラル発表のスライド、およびポスター紹介のスライドは、できるだけ著者が英訳下さい。
英訳が困難なときには、著者の申し出に基づき、事務局が英訳を支援します。

発表申込み時の希望調査の結果、英訳支援あるいは英訳推敲支援の希望が多く、事務局の
キャパシティを越えることがわかりました。

そこで、英訳に関してはつぎのようにお願いいたします。 [2007. 6. 4]

TRIZ のベンダー/コンサルティング側の発表者は、自社で英訳し、提出下さい。

TRIZ のユーザ側の発表者でも、大企業に属する方は、自社で英訳し、提出下さい。

これらに該当せず、発表の事務局英訳を希望する方は、予め事務局に要請下さい。

なお、英訳の推敲支援を希望される方は、予め事務局に要請下さい。

- ・ ポスター発表のスライドも、できるだけ著者が英訳くださるようお願いいたします。
英訳が困難なときには、提出なしで結構です。事務局は英訳を支援できません。
- ・ 海外参加者のオーラル発表のスライド、ポスター紹介のスライドは、事務局が和訳します。
海外参加者のポスター発表の掲示スライドは、事務局では和訳支援をしません。

6. 最終原稿の提出について

6 月初旬のプログラム決定の後、以下の要領で最終原稿を提出下さい。

（本項の詳細を修正・追記しました [2007. 6. 4]）

6.1 最終原稿の提出物（オーラル発表の場合）

0. 提出電子メール (必須): 「最終原稿提出」の旨を明記し、下記必要ファイルを添付下さい。

A. 最終原稿提出書 (必須): 書式 A2 による。(発表申込み時の書式 A を修正して、掲載しました。)
発表題目、著者 (所属)、著者代表連絡先、発表形態、送付ファイル一覧。

B. 和文概要 (必須): 書式 B による。MS Word 2000/2003。書式テンプレートを Web を掲載済み。
発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、
200 字程度の概要、説明文 (図表も可)、全体で A4 の 1 頁。[書式微細修正 (2007. 6. 4)]
(注: この全体を Proceedings 概要版 (日本人向け) に印刷する。)

C. 英文概要 (必須): 書式 C による。MS Word 2000/2003。書式テンプレートを Web を掲載済み。
英文の発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、英文概要、説明文 (全体で B5 2 頁)。
[書式微細修正 (2007. 6. 4)]
(注: この全体を Proceedings 概要版 (海外参加者向け) に印刷する。
印刷に際して、B5 の 2 頁を横に並べて、A4 に縮小印刷する。)

D. 和文スライド (必須): 書式指定なし。最大 32 枚。MS PowerPoint 2000/2003
当日の発表に使い、また、Proceedings 詳細版 (日本人向け) に印刷する。

E. 英訳スライド (必須): 当日の発表で同時投影する。Proceedings 詳細版 (海外参加者向け) に印刷。
著者が英訳困難な場合には、著者の申し出に基づき、事務局が英訳支援する。

F. 和文論文 (随意): 書式 F による。A4 2 段組 最大 8 ページ。MS Word 2000/2003。
(Proceedings 詳細版 (日本人向け) に、和文スライドと和文論文のどちらを掲載する
かを著者が選択・指定する。) 書式テンプレートを Web を掲載済み。
[書式微細修正 (2007. 6. 4)]

G. 英文論文 (随意): 書式 G による。B5 1 段組、最大 16 ページ。MS Word 2000/2003。
(Proceedings 詳細版 (海外参加者向け) に、英文スライドと英文論文のどちらを掲載
するかを著者が選択・指定する。) 書式テンプレートを Web を掲載済み。
[書式微細修正 (2007. 6. 4)]
印刷に際して、B5 の 2 頁を横に並べて、A4 に縮小印刷する。

6.2 最終原稿の提出物 (ポスター発表の場合)

0. 提出電子メール (必須): 「最終原稿提出」の旨を明記し、下記必要ファイルを添付下さい。

A. 最終原稿提出書: 書式 A3 による。(発表申込み時の書式 A を修正して、掲載しました。)
発表題目、著者 (所属)、著者代表連絡先、発表形態、送付ファイル一覧。

B. 和文概要 (必須): 書式 B による。MS Word 2000/2003。書式テンプレートを Web を掲載済み。
発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、
200 字程度の概要、説明文 (図表も可)、全体で A4 の 1 頁。[書式微細修正 (2007. 6. 4)]
(注: この全体を Proceedings 概要版 (日本人向け) に印刷する。)

C. 英文概要 (必須): 書式 C による。MS Word 2000/2003。書式テンプレートを Web 掲載ずみ。
英文の発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、英文概要、説明文 (全体で B5 2 頁)。
(注: 説明文はなくてもよい。 [書式微細修正 (2007. 6. 4)])
この全体を Proceedings 概要版 (海外参加者向け) に印刷する。
印刷に際して、B5 の 2 頁を横に並べて、A4 に縮小印刷する。)

D. 和文ポスターライド (必須): 書式指定なし。最大 16 枚。MS PowerPoint 2000/2003
当日の掲示発表に使い、また、Proceedings 詳細版 (日本人向け) に印刷する。

E. 英訳スライド(随意): 上記 D の英訳版。
当日の掲示発表で使うことができる。Proceedings 詳細版 (海外参加者向け) に印刷。
著者が英訳困難な場合には、提出なしで結構です。事務局の英訳支援はしない。

D2. 和文ポスター紹介スライド (必須): 書式指定なし。最大 2 枚。
ポスター紹介セッションでの発表に使う。
上記 D の和文ポスターライドの中の 2 枚でもよい (別途作ってもよい)。

E2. 英訳ポスター紹介スライド(必須): 上記 D2 の英訳版。
ポスター紹介セッションでの発表の際に同時投影する。
著者が英訳困難な場合には、申し出に基づき、事務局が英訳を支援する。

F. 和文論文 (随意): 書式 F による。A4 2 段組 最大 8 ページ。MS Word 2000/2003。
(Proceedings 詳細版 (日本人向け) に、和文スライドと和文論文のどちらを掲載する
かを著者が選択・指定する。) 書式テンプレートを Web 掲載ずみ。
[書式微細修正 (2007. 6. 4)]

G. 英文論文 (随意): 書式 G による。B5 1 段組、最大 16 ページ。MS Word 2000/2003。
(Proceedings 詳細版 (海外参加者向け) に、英文スライドと英文論文のどちらを掲載
するかを著者が選択・指定する。) 書式テンプレートを Web 掲載ずみ。
[書式微細修正 (2007. 6. 4)]
印刷に際して、B5 の 2 頁を横に並べて、A4 に縮小印刷する。

6.3 最終原稿の提出方法と締切

提出・問い合わせ先: プログラム委員長: 中川 徹 (大阪学院大学)

送付方法: 電子メールで文書添付 (MS Word または MS PowerPoint)、

宛て先: 電子メールアドレス: jts-sympo@triz-jp.com

締め切り: 7月23日(月) 18:00

(提出メール 0、最終原稿提出書 A2 or A3、

和文概要 B、英文概要 C、和文スライド D、D2、和文論文 F)

注: 英訳スライド E、英文論文 G の締切は、8月6日(月) 18:00 まで猶予。

お願い: 皆さまの最終原稿の提出後に、事務局では翻訳作業・編集作業など多くの作業を極めて短期間で行う必要がありますので、上記の締切日をぜひ厳守下さい。

参加登録: 発表者の参加登録の締切日は、**7月23日(月)18:00**です。
(一般参加者の参加登録の締切は**8月17日(金)12:00**です。)[2007.6.4修正]

注意: 以下の場合には、プログラム委員会は、その発表申込みが取り下げられたものと判断し、その発表をプログラムからの削除し、Proceedings への掲載を取りやめることがあります。ご承知おき下さい。

- ・ 最終原稿が締切日までに提出されなかった場合、
- ・ 参加登録が締切日までに行われなかった場合、
- ・ シンポジウム当日に著者(または共著者)が出席・発表できないことが明らかなる場合。

お願い: スライドの作成においては、一般的な注意事項(大きな文字で、一枚に詰め過ぎない、背景無しのモノクロ印刷でも明瞭なこと)に加えて、海外参加者への配慮をお願いします。英訳スライドを投影していますが、「しゃべり」の部分での内容は海外参加者は理解できないので、スライドだけでも分かるように配慮下さい。
[2007.6.4]

7. シンポジウム当日の発表スライドとポスタースライドについて **(本項、変更なし [2007.6.4])**

7.1 オーラル発表

- ・ 事務局が、和文スライド投影用パソコンと、英文スライド投影用パソコンを用意します。
(Windows XP、MS Office 2003 搭載)
発表に特別なソフト(動画投影など)を使ったデモなどを行う場合には、発表者がパソコンを持参下さい。この場合に、デモ部分だけは和英同時投影できないことがあります。
- ・ 発表に使う PowerPoint ファイルを USB メモリなどで持参下さい。
発表当日の朝に各自のファイルを事務局のパソコンにインストール下さい。
事務局では念のために、著者が印刷用に提出したファイルを投影可能なように準備します。
- ・ 発表の(ごく)一部を印刷しないことを、認めます。
ただし、これは一部の例外的な処置であることをご承知下さい。

7.2 ポスター発表の場合

(a) ポスター紹介の発表

- ・ 事務局が、和文スライド投影用パソコンと、英文スライド投影用パソコンを用意します。
- ・ ポスター紹介用のスライドは、最終原稿の提出時に提出したものを 사용합니다。
事務局が予め用意しておき、多数の発表者がスムーズに発表できるようにします。

(b) ポスター掲出用のプリント資料

- ・ 掲出するのに使うスライドのプリントを、当日必ず持参下さい。
- ・ このプリントが、印刷用に提出したものと(ごく)一部に異なることを認めます。
- ・ プリント資料の準備とポスター掲出の作業については、5.2 節を参照下さい。

8. 準備組織と問い合わせ先

(本項、変更なし [2007. 6. 4])

日本 TRIZ 協議会: 代表者: 林 利弘 (日立製作所)

第3回 TRIZ シンポジウム 運営委員長: 三原 祐治 (富士フイルム)
同 運営委員 (事務局): 堀田 政利 (創造開発イニシアチブ)
同 会場組織委員: 奥住 直明 (東芝)
同 プログラム委員長: 中川 徹 (大阪学院大学)
同 プログラム副委員長: 小西 慶久 (三菱総研)
同 プログラム委員: 黒澤 慎輔 (産業能率大学)
同 ポスターセッション担当: 池田 和康 (積水エンジニアリング)
同 海外参加者対応担当: 正木 敏明 (日東電工)

問い合わせ用メールアドレス:

シンポジウム全体、参加登録関係: jts-info@triz-jp.com
プログラムの発表関係: jts-sympo@triz-jp.com

以上